

タイトル		Into the Forest			
著者（文・絵）		Anthony Browne			
出版年		2004 年	出版社	Walker Books	
翻訳版		『森のなかへ』 灰島かり訳、評論社、2004 年			
総語数	523 語	ページ数	32 ページ	YL レベル	N/A
あらすじ					
「ぼく」は夜中に大きな物音で目が覚めます。朝になるとパパがいません。いつ帰って来るのかママも知りません。次の日、「ぼく」はママからおつかいを頼まれます。森の向こうに住むおばあちゃんのうちにお見舞いのケーキを届けてくれということです。森に入っただけでいけないというママの忠告も聞かず、近道をしたいので「ぼく」は森の中をつきる道を進んでいきます。さて、森の中で何が「ぼく」を待ち受けているのでしょうか。					
紹介					
ストーリーよりも、絵に隠された仕掛けを探すことを楽しむタイプの絵本です。男の子が森の中に入って行って、やがておばあちゃんの家にとどきというだけの話なのですが、そこには「赤ずきんちゃん」のプロットが重ね合わされています。表紙の男の子の影はウサギの形に見えますし、大きな木の根元にはかえるやりんごが隠れています。男の子が入っていく森の世界は白黒で描かれているのですが、どうやらそこは童話の世界らしく、男の子は童話から飛び出してきたらしい登場人物たちに次々と出会います。牝牛を連れた『ジャックと豆の木』のジャック、お見舞いのケーキをやたらに食べたがる金髪の少女（ラプンツェル？）、両親に捨てられたらしいヘンゼルとグレーテルなど。白黒の森のページはどこをめくっても、シンデレラの靴やかぼちゃ、長靴をはいた猫、赤ずきんちゃんの狼などが描き込まれています。物語の展開とどう関連するのかははっきりしないながらも、こうした隠れた絵を探すのは楽しい作業でしょう。 さらに、カラーのページにも、いろいろと謎が隠されています。最初のページには稲妻が描かれ、男の子が不安そうな顔をしてベッドに起き上がっています。彼が聞いた大きな物音とは何だったのでしょうか？なぜ最初のほうのママの顔と最後のページのママの顔は、全く違うタッチで描かれているのでしょうか？あれこれ「深読み」してみると、「赤ずきんちゃん」とは違った森の冒険を体験できるかもしれません。 あるいは、すべては作者のお遊びで、特に意味はないのかも...かもしれません。それはまたそれでよし。					
指導ポイント、授業活用例、学生の声など					
【ポストモダン絵本 (post-modernist picture book)】					
詳細は、本 HP の <i>Voices in the Park</i> のページを参照のこと。					
【授業活用例】					

➤ 読み聞かせ

英語はそれほど難しくありませんので、小学校高学年や中学生にも読み聞かせ可能です。ただ読み聞かせるだけではなく、この絵本の中に使われている様々な童話を探すクイズを同時に行うとよいでしょう。「いくつ童話を見つけられるか？」といった問いを投げかけてから読み聞かせをすると、生徒たちが前のめりになって聞いてくれること請け合いです。

➤ ポストモダン絵本を使ったグループディスカッション

この活動は、本 HP で紹介している他のポストモダン絵本 *I Want My Hat Back*, *The Doubtful Guest*, *Voices in the Park*, *The Lost Thing*, *It Might be An Apple* などと組み合わせて行います（これらの絵本については、本 HP の他のページを参照のこと）。ポストモダン絵本は読者に多様な解釈を促すので、ディスカッションに用いると、参加者は1人で読んだだけでは気づくことのない新しい視点、物の見方に気づくことができます。

手順

Lesson 1

1. ポストモダン絵本とは何かについて教師が説明する。
2. 6冊の絵本を学生に回し読みさせ、最も気に入った絵本を選ばせる。
3. 学生の第一希望を考慮しつつ、絵本ごとに4～5人ずつのグループを作る。
4. 次の授業までに、選んだ絵本についてあらすじ、登場人物の特徴、テーマ、その他ディスカッションで話したい問いなどを準備させる（ワークシート配布、下記参照）。

Lesson 2

5. 選んだ絵本についてグループディスカッションを行う（30分～45分）。
6. ディスカッションで話し合った内容をクラスで発表する（各グループにつき10～15分程度）。発表の際には、パワーポイントや手書きのフリップなど視覚資料を使用するよう指示する。

【学生の声】

- 部屋の壁に、ヒビの入った家族の写真が飾られているページが重要だと考えました。この写真が、この本にはもう一つのストーリーが隠されていることを示唆していると考えました。
- *Into the Forest* は、最後の母親の笑顔のページを最も大事なページとして読むことが良いと思います。

関連作品・参考 URL

【Browne による他のお薦め絵本】

- *Voices in the Park* (Corgi, 1998) (『こうえんで... 4つのお話』(久山太市訳、評論社、2001年)

本 HP で紹介していますので、そちらをご覧ください。

- *The Tunnel* (Walker Books, 2008) (翻訳なし)
本 HP で紹介していますので、そちらをご覧ください。

cf. 参考ワークシート

Reading Picture Books for Shared Reading

Student ID _____ Name _____

Title of the picture book you chose _____

Before the Discussion

- What are the objective facts of the story? List them below.

- Fill out the table below. (Character の数は作品によって適宜変更)

	Character A	Character B	Character C	Character D
How old is he/she?				
What can we tell about the character from the way he/she speaks or behaves?				
Anything else in the book that gives information about the character				
What page is the most important				

for the author ⁽¹⁾ ? Find the core idea ⁽²⁾ of the picture book.				
---	--	--	--	--

© Just Imagine Story centre Ltd.

注(1), (2)

作者の視点を意識させるための問いです。作者がその本の「肝（きも）」であると考えているページはどこかを探します。Core idea とはその「肝」のことです。本の「核」となるアイディア、あるいはその本の「種」と言えいいでしょうか。作者はなんとなく本を書き始めているわけではなく、なんらかの「種」から本を育てていくと考えられます。それは必ずしも明確なメッセージやテーマではないかもしれませんが、しかし、その「種」がなければ、その本は生まれなかったような「着想の原点」が本のどこかに隠れているはずです。それを、作者が描き込んだ言葉やイラストの中に探す活動です。もちろん、決まった解答はありませんので、ディスカッションで最も盛り上がる問いです。

During the Discussion

Write two questions that you would like to ask your classmates. Then provide answers to the questions.

Question 1 + your answer（事前に用意しておき、ディスカッション中に発表する）

Your classmates' answers（ディスカッション中にメモする）

Question 2 + your answer（事前に用意しておき、ディスカッション中に発表する）

Your classmates' answers（ディスカッション中にメモする）

After the Discussion

Write a short review of _____ (title) for class presentation

_____ (title) is about _____

What attracts the reader to this book is that

(文責：深谷素子)